

第三次栄区読書活動推進目標について(原案)

読書活動は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」及び「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」によれば「言葉を学び、感性を磨き、表現力、創造力等を高め、又は豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付ける上で大切なもの」とされています。

栄区では、これまで区役所、図書館、学校、地区センター等が連携し、地域の特性を生かしながら、区民のみなさまに身近な場所で読書活動を推進するために目標を定め、実践してきました。

栄図書館の貸出冊数は、令和6年度で年間44万冊を超え、区民1人あたりに換算すると市内で第2位という高い水準にあります。しかし一方で、図書館の来館者は減少傾向にあります。



また、令和5年度に実施した栄区民意識調査では「1年間に何冊くらい本を読みましたか。」という問い合わせに対し、「全く読まない」と回答した人が29.5%と最も多く、特に30歳代では40.9%に達しました。スマートフォンや動画配信など情報取得の手段が多様化する中で、本を読まない層の増加が顕著となっています。

このような状況を踏まえ、「第三次横浜市民読書活動推進計画」が策定されたことから、「第三次栄区読書活動推進目標」を定めることとなりました。本目標では、電子書籍の普及啓発や区内の読書関連施設・団体との連携を通じて、区民のみなさまと引き続き読書活動の推進を図ってまいります。

目標Ⅰ 子どもたちの読書を応援!

未来を担う子どもたちが読書に親しめる環境を整えます。

具体的な取組

- ◆図書館や区役所などで、おはなし会を開催します。
- ◆図書館では、小学生の図書館見学や中高生の職業体験などを受け入れます。
- ◆図書館資料の教職員向け貸出や司書教諭・学校司書のスキルアップ支援、読み聞かせボランティア研修などを行います。
- ◆図書館は、一日図書館員など子ども向けイベントの実施や、本や読書に関する学習成果物を展示します。
- ◆中学生によるビブリオバトル(本の紹介ゲーム)を開催します。
- ◆図書館のティーンズコーナーの計画的更新や企画展示を行います。



【いきものいっぱい おはなし会】

令和6年8月7日開催

環境や生物多様性への関心を高めるため、生き物の本の読み聞かせを行いました。



【きみも一日図書館員】

令和7年7月30日、8月6日開催

小学生を対象に夏休みの思い出に図書館の仕事を体験してもらいました。



【ビブリオバトル】

令和6年12月18日開催

バトラーとして、区内市立中学6校の生徒に参加いただきました。

目標2 本をもっと身近に!

誰もが生活の中で読書に親しめる環境を広げていきます。

具体的な取組

- ◆保育所、幼稚園、小学校、福祉施設、自治会・町内会など、地域の読書活動グループに図書館資料の貸出を行います。
- ◆読書記録や感想を書き残す「親子のえほんノート」「読書ノート」の内容を充実させ、区内読書関連施設で配布します。
- ◆作家等による講演会や体験型講座、大人のおはなし会などを開催します。
- ◆区民から寄贈された本を活用し、図書館の蔵書や区役所1階待合スペースの絵本コーナーの充実を図ります。
- ◆司書によるレファレンスサービスを強化します。
- ◆図書館と地区センターの情報交換の場を設けます。



【区役所1階 絵本コーナー】



【読書講演会】

令和6年3月29日開催
小説家デビューのいきさつや栄区
が舞台のモデルとなった小説の執
筆エピソード、おすすめ本の紹介な
どをお話しいただきました。



【読書ノート&親子のえほんノート】

目標3 自分に合った読書のカタチを見つけよう!

多様な環境やライフスタイルに応じて、誰もが読書を楽しめる仕組みを整えます。

具体的な取組

- ◆スマートフォンやパソコンなどを通じた電子書籍サービスの普及啓発に努めます。
- ◆読書に困難な方も楽しめるバリアフリー図書の充実を図ります。
- ◆栄区社会福祉協議会と連携しながら、読書環境を改善していきます。
- ◆広報よこはま栄区版やホームページ、SNS、パマトコなどを活用し、積極的な情報発信を行っていきます。